

県立日南病院退職に寄せて

院長 柴田 紘一郎

この度、弥生3月末をもって、「あかねさす 日南の丘の病院は 家族のこころと 拈華微笑」と謳いました県立日南病院を退職することになりました。

宮崎医科大学第二外科より転任してきましたのは、平成8年11月でした。

爾来、9年6ヶ月の勤務でしたが、数々の思い出が万感胸に迫ってまいります。日南は我が心の第二の故郷とでもたとえたい思いです。

赴任当時、病院は築30年余の老朽化にともない、平成5年に実施設計に着手した新病院改築計画がほぼ完成期でした。病院は旧くても、藤崎俊一院長以下、職員一同が新しいものを創るという情熱で活気に満ちており、同時に先人達が、地域住民の方々の信頼と期待に応えるべく努力された様子が諸処に感じられたのを憶えております。

平成10年2月、県内でも有数の高機能設備と内容をもった新病院が落成、1年後の平成11年4月、私が第6代院長として昇任させていただきました。

院長になって取り組みましたのは、患者さんを中心にして、それを全職員が一体となって支える医療です。即ち、本院の理念の具体的実現及び経営状況の改善・向上でありました。

それには、職員各位のやる気、即ちモチベーションをいかに高く保つかの手だてでもありました。その事が患者さんにもポジティブな効果を生じ、ひいては患者さんと、密な交流が生まれ、病院の存立も保証されるだろうと思ったからです。

自治体病院運営の大きな柱は公益性の確保と健全な運営であることは論をまちません。今日、病院のあり方について、とくに税金投入による医療経済性が問題にされてきています。本院も、その意味では、運営上種々の問題を内蔵しており、解決に手探りの状態が続いております。

しかし、医の本質は未来永劫に同じであると考えております。つまり、本院が掲げています、基本理念であり、基本方針であると確信しております。その達成のため、微力ながら、種々の工夫、方策に取り組んできました。

これらの具体的な事項は、平成11年より毎年度に刊行を始めた県立日南病院業績集にまとめております。また、より多くの方々に見ていただいで意見をいただければとホームページでの公開も平成13年より開始しております。

浅学非才の私が、どうにか本職を奉じられたのも、患者さんを中心にした、多数の医師、看護師、県職員の皆様、また、委託業務の方々のご尽力・ご協力があつたからこそです。ここに、厚くお礼申し上げます。

私は本地に赴任して、患者さんをはじめ、沢山の日南の地域住民の方々と知己をえました。すべて、人情あつく、人生に対する機微を教えて頂きました。

人は城、人は石垣です。私は人間賛歌の本当の意味を当地で学びました。当地で仕事が出来たことは、我が人生の途上、誠に幸運だったとつくづく思っております。

いままで、巡り会った患者さんをはじめ、関係諸氏に深甚の感謝を捧げ、ひとえに、今後の病院の発展を心より祈っております。



◆ 5月1日から電子カルテを導入します ◆

電子カルテシステム整備担当 **緒方 勝良**

現在、当院では、5月1日の稼動を目指して『電子カルテシステム』の整備を進めています。

電子カルテシステムは、患者様への直接的なメリットととして次のようなことがあります。

【その1】

カルテや看護記録及び検査結果などの医療情報を一元化、共有化することにより、医療の質や安全性が向上します。

(例) 患者本人と、実際に投与する医薬品。注射、血液コードの読みとりマッチングにより医療ミスなどを防止します。

【その2】

インフォームド・コンセントの充実などにより、安心・安全な医療サービスを提供します。

(例) ①医師が診察時に患者様に対して、パソコン画面により症状（検査結果等）を分かりやすく説明できるようになり、患者様との信頼関係が向上します。

(例) ②看護師がパソコンをベッドサイドまで持参することにより、ベッドサイドにおいて患者様に対し、治療の経過等の情報提供が可能となり患者様の安心度が増します。



【その3】

患者様の診療情報は医事会計システムと連携し、管理されますので、迅速で効率的な会計処理ができます。

◎この他、電子カルテの導入により、病院運営・経営の効率化につながる様々なメリットがあります。

【お願い】

1. 電子カルテ導入に伴い、全ての患者様（予約券をお持ちの患者様を含む。）の診察券を、**来院時には1階ロビーの再来受付機に通して頂くことになりました。**
2. しばらくの間は、以前よりも診療待ち、診療及び会計処理に時間がかかりますので、あらかじめご了承ください。

日常の健康管理や慢性疾患の治療等については、ご自宅の近くの「**かかりつけ医**」（診療所）をもたれることをお勧めします。

[Back](#) [contents](#) [next](#)

ためになる話

今回は“睡眠について”

疲れた体を休ませるにはなんと言っても睡眠は不可欠！イヤなことも、一晩寝たら気持ちが変わった経験はありませんか？個人差のある睡眠は、「長い時間眠るから疲れが取れるわけではない」と言われています。今回、効果的な睡眠について「ためになる話」をお知らせします。

1. 睡眠には、脳を休ませるノンレム睡眠（深い眠り）と体を休める睡眠レム睡眠（浅い眠り）があります。
2. 脳を休ませるノンレム睡眠は90分の周期で繰り返され、その周期に合わせて、スッキリ目が覚めることができます。
3. 目覚ましは、目が覚める予定時刻を90分で倍数計算しましょう。
快適な睡眠は⇒90分の倍数 4. 5時間・6時間・7. 5時間の睡眠がとれるように目覚ましをセットする。

工夫次第で快適睡眠

☆ 枕・ふとんなどの寝具は体にあったものを選ぶ

☆ 厚手のカーテンで光と騒音をシャットアウト

☆ 暑さや湿気は寝苦しさの原因。寝室の風通しに注意し、起きてすぐ朝日を浴びれば、目覚めスッキリ

睡眠障害対処12の指針

1. 睡眠時間は人それぞれ、日中の睡眠で困らなければ十分
2. 刺激物を避け、眠る前には自分なりのリラックスマethod
3. 眠たくなってから床に就く、就床時刻にこだわりすぎない
4. 同じ時刻に毎日起床
5. 光の利用でよい睡眠
6. 規則正しい3度の食事
7. 昼寝するなら、15時前の20～30分
8. 眠りが浅いときは、むしろ積極的に遅寝・早起きに
9. 睡眠中の激しいイビキ・呼吸停止や足のぴくつき・むずむず感は要注意
10. 十分眠っていても日中の眠気が強いときは、専門医へ
11. 睡眠薬代替りの寝酒は不眠のもと
12. 睡眠薬は医師の指示で正しく使えば安心

[Back](#) [contents](#) [next](#)



平成17年度

患者満足度調査について

県立日南病院患者サービス検討部会

1. 日南病院での患者満足度調査

当院では、患者様が安心して、より良い環境で診療、療養が受けられるよう患者様から直接ご意見など伺い、それを今後の職員の対応や施設の改善に反映するため、経営改善検討委員会の中に患者サービス検討部会を設け、各部門からの委員で構成し、アンケート調査を行っています。

また、病院内7カ所に、ご意見箱を設置し、患者様からのご意見等をお聞きするとともに、それらへの対応を院内やホームページで公表しております。

今回、昨年11月に外来・入院患者様へのアンケート調査を行いました。その集計の一部を掲載いたします。なお、この場をおかりして、アンケート調査にご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。

2. 調査結果を受けての今後の方針

今回、アンケート調査を行った結果、施設整備面につきましては、前年度より改善で不満のご指摘が減少しておりますが、今後さらに整備充実を図ってまいります。

また、当院では職員や委託職員の患者サービス向上に努めておりますが、接遇研修等を通じて、今後も改善等に努めてまいります。

さらに、満足度調査の中でご指摘が多かった予約時間、待ち時間につきましても、重要な課題として取り組んでいますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

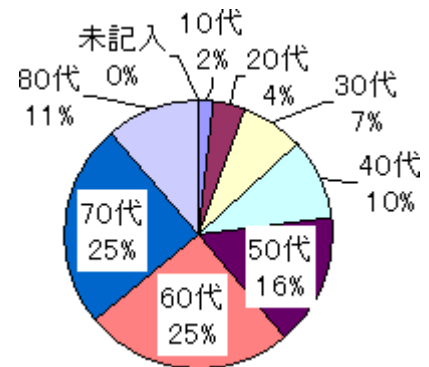
当院では、今後とも、患者様から信頼され、満足していただける病院づくりをめざして、全力を尽くしてまいりますと考えています。

外来患者様アンケート実施結果（平成17年11月16日～11月18日実施）

I あなたのことについてお伺いします。

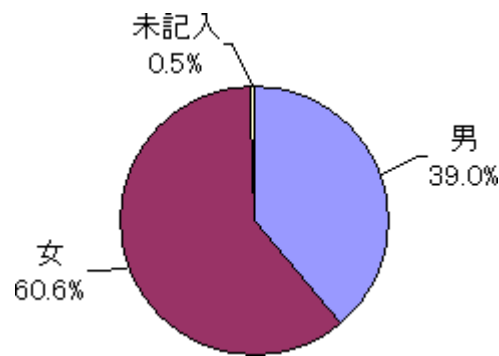
1 あなたの年齢（年代）をお答え下さい。

10代	4人
20代	9人
30代	16人
40代	21人
50代	35人
60代	54人
70代	54人
80代	25人
未記入	0人
合計	218人



2 あなたの性別をお答え下さい。

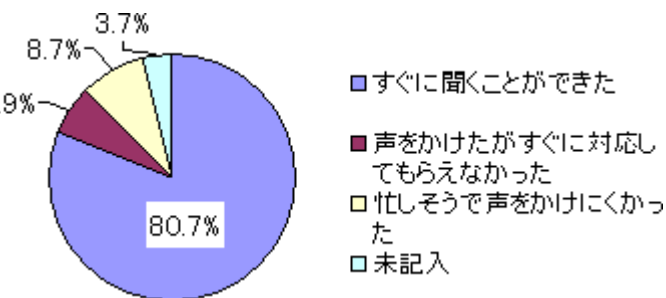
男	85人
女	132人
未記入	1人
合計	218人



II 当院の職員の対応等についてお伺いします。

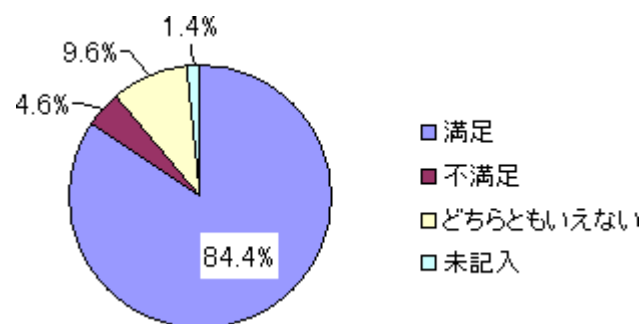
1 分からないことや困ったことなど職員に気軽に聞けましたか。

① すぐに聞くことができた	176人
② 声をかけたがすぐに対応してもらえなかった	15人
③ 忙しそうで声をかけにくかった	19人
④ 未記入	8人
合計	218人



2 診察を受けた時の、医師の説明や対応はいかがでしたか。

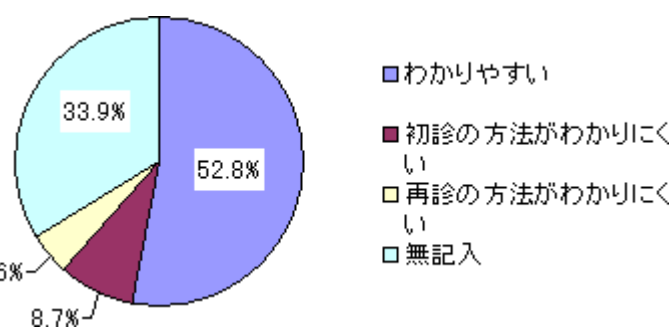
① 満足	184人
② 不満足	10人
③ どちらともいえない	21人
④ 未記入	3人
合計	218人



III 運営や設備のなどについて

1 受付の方法は分かりやすいですか。

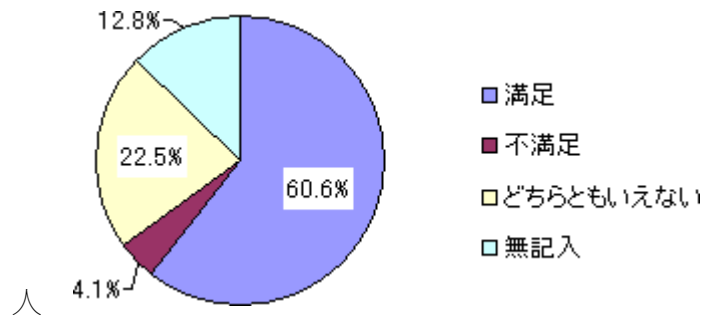
① 分かりやすい	115人
② 初診の方法がわかりにくい	19人
③ 再診の方法がわかりにくい	10人
④ 無記入	74人
合計	218人



2 食堂や売店、自動販売機の品揃えや設置場所等はいかがですか

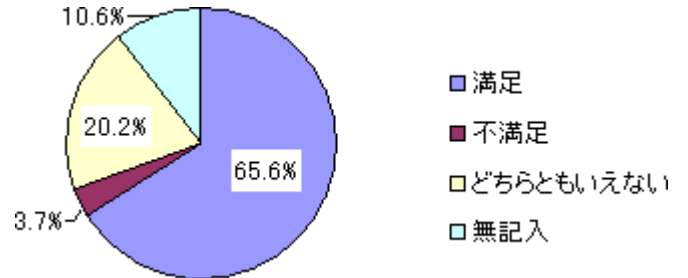
① 満足	132人
② 不満足	9人
③ どちらともいえない	49人
④ 無記入	28人
合計	218人

合計



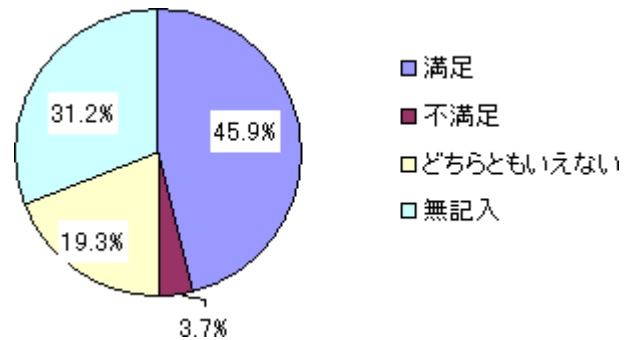
3 療養環境（採光、静けさ、緑化施設、休憩場所等）はいかがですか。

① 満足	143人
② 不満足	8人
③ どちらともいえない	44人
④ 無記入	23人
合計	218人



4 案内や診察の際のプライバシーは保たれていますか。

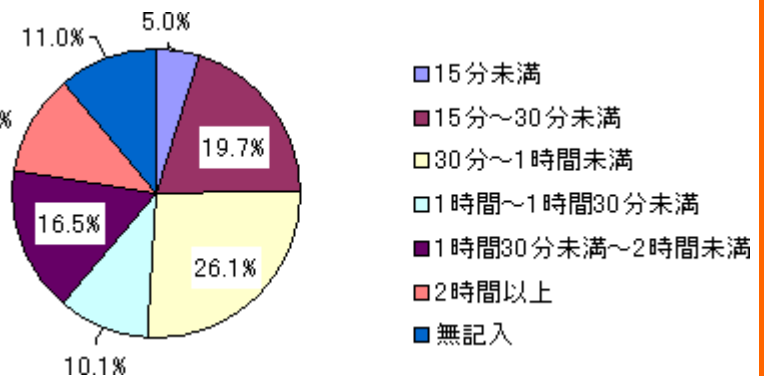
① 満足	100人
② 不満足	8人
③ どちらともいえない	42人
④ 無記入	68人
合計	218人



IV当院での待ち時間についてお伺いします。

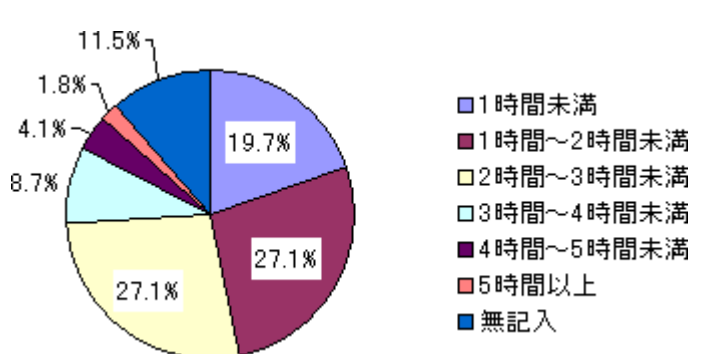
1 受付から診療開始までにどれくらい時間がかかりましたか。

① 15分未満	11人
② 15分～30分未満	43人
③ 30分～1時間未満	57人
④ 1時間～1時間30分未満	22人
⑤ 1時間30分～2時間未満	36人
⑥ 2時間以上	25人
⑦ 無記入	24人
合計	218人



2 受付から会計終了までにどれくらい時間がかかりましたか。

① 1時間未満	43人
② 1時間～2時間未満	59人
③ 2時間～3時間未満	59人
④ 3時間～4時間未満	19人
⑤ 4時間～5時間未満	9人
⑥ 5時間以上	4人
⑦ 無記入	25人
合計	218人





看護科コーナー

～風は南（日南）から～

総看護師長 野口初代

過日の畦焼き跡の黒い土からは、柔らかな新芽が顔をのぞかせ、その上を春風が優しく通り抜けていきます。病床の窓辺から見える季節の移り変わりに、ご自身の病状と重ね合わせ、喜び・悲しみをともに感じておられる患者さまもいらっしゃる事でしょう。

私ども看護師は、患者のみなさまが安心して入院生活が送れるように療養環境を整え、一日も早くご回復でき、少しでも望まれるような生活に戻れるようにと願いながら、毎日看護の仕事を行っています。

担当の看護師は、みなさまの身近な相談者として十分役割をはたせているのでしょうか？

病棟によっては、受け持ちの部屋担当の名前を掲示したり、「本日担当の看護師〇〇です」と挨拶をしてから1日の仕事が始まる部署もあると思います。

平成18年4月からは、各勤務帯で「現在、〇人の患者さまに対して△人の看護師が、勤務しています」という表示をすることが義務づけられるようです。

ところで、私たちの住んでいる県南地域では、将来人口の高齢化・過疎化が、他の地域に先駆けて進んでいく予測だそうです。向こう三軒両隣、高齢者だけのご家族や一人暮らしの方が増えていくとしたら、「元気に年を重ねていくこと」「病気や体が不自由になってもお互い助け合い幸せに暮らせること」、その為の方策を今から考えていく必要があると思われまます。

当院の理念のひとつに「地域社会に貢献する病院」がうたわれています。県南地域全体の医療・保健・福祉の充実に向けて、県病院の職員としてできることを、一人一人が真剣に考え、身近なことからネットワーク作りを行い、その輪を広げていけたら、どんなにか住みよい地域になるかなと、今からわくわくしています。

少し、楽観的な考え方になったかも知れませんが、『きっと元気。ほっと宮崎（日南）』になるように、病院勤務の看護師にもできることが必ずあるはずで

私ども看護師に限らず、病院にはたくさんの専門職の人たちが勤めています。

この地域を、そして何より日南病院を好きなり、患者さんに優しい病院作りに職員一同励んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、現在1階エントランスホールに於いて、看護師長による看護相談コーナーを開設しております。（平日の9時30分～11時30分です）

来院されたおりに、是非お立ち寄りいただき、ご相談やご意見・ご要望等お聞かせ下さい。



[Back](#) [contents](#) [next](#)



小児の発熱と解熱剤

小児科医師 高橋 真悠子



こどもは、特に乳幼児期にはちょこちょこ熱が出ます。しかも、夜になると熱が上がり、救急外来など時間外に受診されることがよくあります。小児科領域で気をつける発熱と、解熱剤の使い方についての一般的な話を書こうと思います。

乳幼児は、大人と比べて新陳代謝が盛んで、平熱が37.5℃前後と高めです。また、哺乳、啼泣、入浴などにより、38℃ぐらいまで上がることもしばしばです。

生後6ヶ月頃になると、お母さんからもらった抗体がほとんどなくなってしまい、それから先は小さな感染症をくり返しながら、自分で抗体を獲得していかなければなりません。こどもが高熱を出している時は、「今、体の中に侵入した病原体と闘って、これを撃退する力を学んでいるところなんです〜。」と説明しています。いくら高熱が出て、それだけで脳に障害を残すことはなく、また熱の高さと病気の重症度は必ずしも一致はしません。

では、これは注意して診ましようという発熱は、

1. 3ヶ月未満時の発熱

≫発熱以外のはっきりした症状を示さずに重症化することがあります。

2. 5日以上続く発熱

≫細菌性感染、肺炎などの合併症の可能性があります。

3. 意識障害、けいれん、ぐったり、顔色不良、強い頭痛・腹痛

≫重症感染の可能性があります。

4. 心疾患、免疫不全、神経疾患がある場合

≫基礎疾患の増悪の可能性があります。



次に、解熱剤の使い方ですが、「熱」は必ずしも下げる必要はありません！

前述したように、熱は生体を守る防御反応の一つであり、体内に侵入した病原体は活動が不発となり、なかなか増殖できず、病気の進行を抑制するというプラス効果があるのです。

普通感冒でも発熱は2～3日続くことが多く、解熱剤を使用しても、薬の効果がなくなる時には再度上昇することがほとんどです。特に赤ちゃんは、体温中枢機能がまだ未熟で、解熱剤を使用することで、熱が下がり過ぎてしまうこともあります。（基本的には6ヶ月未満児には使用を避けています。）

また、乳幼児期に多い熱性痙攣についても、解熱剤使用後の熱の急激な再上昇に伴って、痙攣が起こることもしばしばです。（熱性痙攣の既往がある児になるべく解熱剤使用を避ける理由です。）

では、解熱剤の使用について説明する際は、

○解熱剤は、熱を下げるだけのお薬で、病気を治すものではない。

○元気がある時は必ずしも使用しない（上記理由のため）

○水分がとれずぐったりする時、ぐずついてねむれない時、きつくてたまらない時には一時的に下げてあげて、下がっている間に水分や食事をとらせたり、寝かせたりする。

という風にお話しています。

小児の発熱に対する正しい認識、対応と、解熱剤の使用をお母さん方をはじめ、子育てに関わる皆様に理解し



てもらえるとうれしく思います。

[Back](#) [contents](#) [next](#)

柴田紘一郎病院長にインタビュー～

平成18年3月31日をもって県立日南病院を退職されることになりました。「茜さす 日南の丘」の命名、躍動・感謝・変革・逆境がチャンスなど各種会議や院内機関紙等を通し、熱い思いを発信されてこられました。今回退任にあたり、その思いをインタビューしました。



プロフィール

柴田 紘一郎（しばた こういちろう）

宮崎県出身

長崎大学医学部卒業

1966年 長崎大学附属病院インターン

1976年 宮崎医科大学転任

1996年 宮崎県立日南病院外科部長就任

1999年 同院長に就任

Q：退職に当たりお気持ちを聞かせて下さい。

- ・患者さんをはじめ、たくさんの素晴らしい方々と巡り会えたよこび。
- ・人情味溢れる町・日南の地で勤務できた事のしあわせ。
- ・これまでにない人生の宝物をいっぱい与えて頂いた事への感謝、感激。

Q：一番思い出深いことは何だったのでしょうか。

- ・院長昇任直後に発生した医療事故（薬取り違い）をはじめ、医療安全対策問題。
- ・院長昇任2年目に受賞した経営改善による知事賞。
- ・病院機能評価認定への取り組み。

Q：退職のきっかけは何だったのでしょうか？

- ・健全なる病院経営への力不足。
- ・逆風に立ち向かう活力（気力・体力・勇気）の減退。

Q：今後、どのようなライフスタイルになるのでしょうか？

- ・自分の生き方をゆっくり考えた生活。
- ・挑戦とやすらぎのほどよい時間配分の生活。
- ・心はいつも青春、好奇心をもちつづけるような生活。

Q：最後に病院に一言お願いします。

- ・当院の基本理念を着実に実現していく病院であって欲しい。
- ・住民の皆様より、すべての面において、信頼、満足される病院であって欲しい。
- ・税金投入で運営されている自治体病院であることを忘れないで。
- ・日南病院で勤務したことが誇れる病院であって欲しい。
- ・永遠不滅であって欲しい。

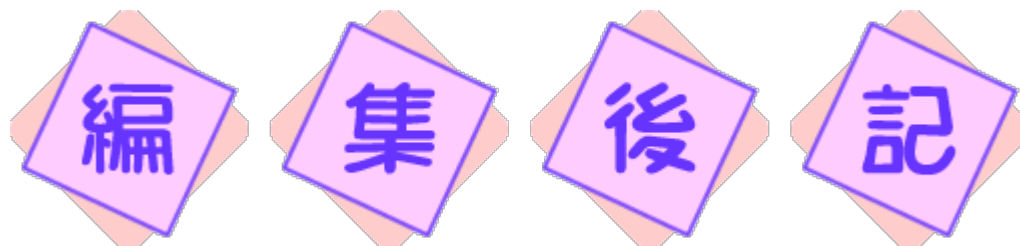
茜さす 日南の丘の病院は
家族の心と 拈華微笑

(注) 拈華微笑(ねんげみしょう)：文字や言葉によらず、心から心に伝えること。



(院内巡視)

[Back](#) [contents](#) [next](#)



編 集 後 記

☆花が咲き乱れ、木の芽が出はじめる春。四季の中で最も明るく、華やぐ季節である。

しかし、今年の春はなぜか寂しい。桜の開花ももっと遅くなればと思う。「風に立つライオン」柴田紘一郎院長が10年余過ごした日南病院を離れていく。よく通った居酒屋で必ず言われた。「僕はね、日南病院を、日南を本当に愛しているんですよ。誰より愛しているんですよ。あなたは愛していますか。」

☆柴田院長から桜の木の寄贈があった。来年間違いなく満開の花が咲くだろう。

柴田先生、さようなら、ありがとう。いつまでもお元気で。

(広報編集委員会 M. 1)

[Back](#) [contents](#)